

# 移動に関する基礎資料

平成22年11月29日  
国土交通省総合政策局

# 年齢構成別・トリップ目的のシェア

図1-1 年齢構成別・トリップ目的の比率

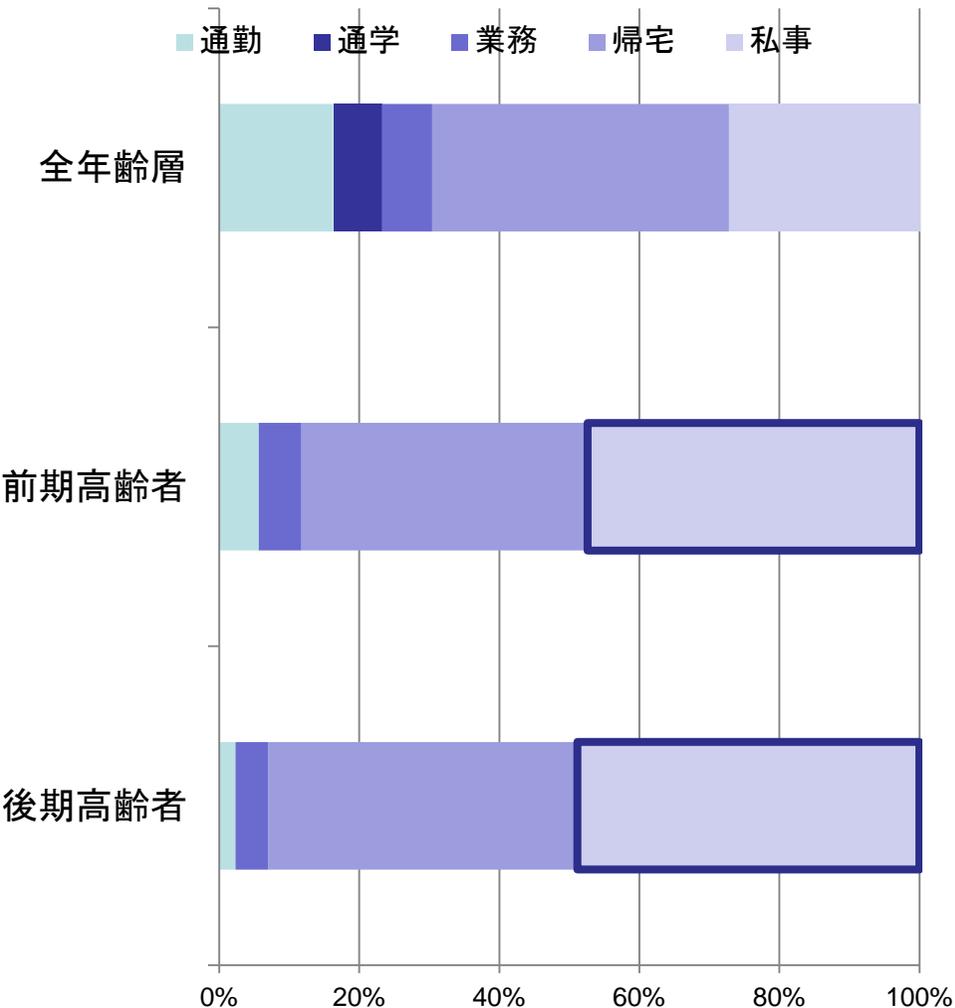
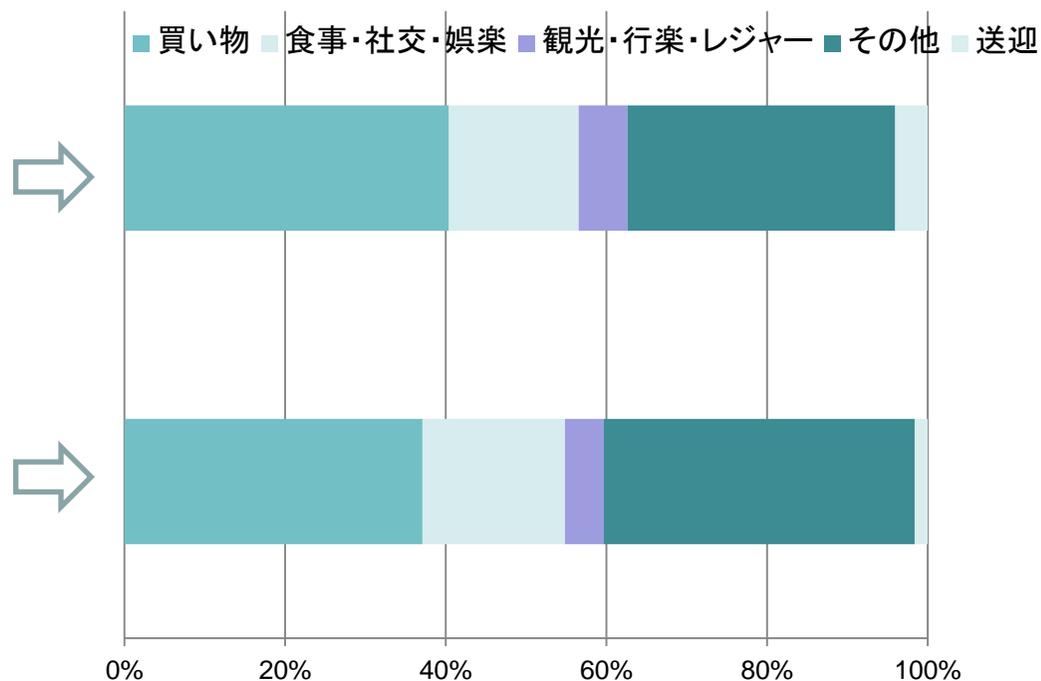


図1-2 高齢者のトリップに係る「私事」の内訳



注: 上記は三大都市圏に係るデータ。地方都市圏も概ね同様の傾向。

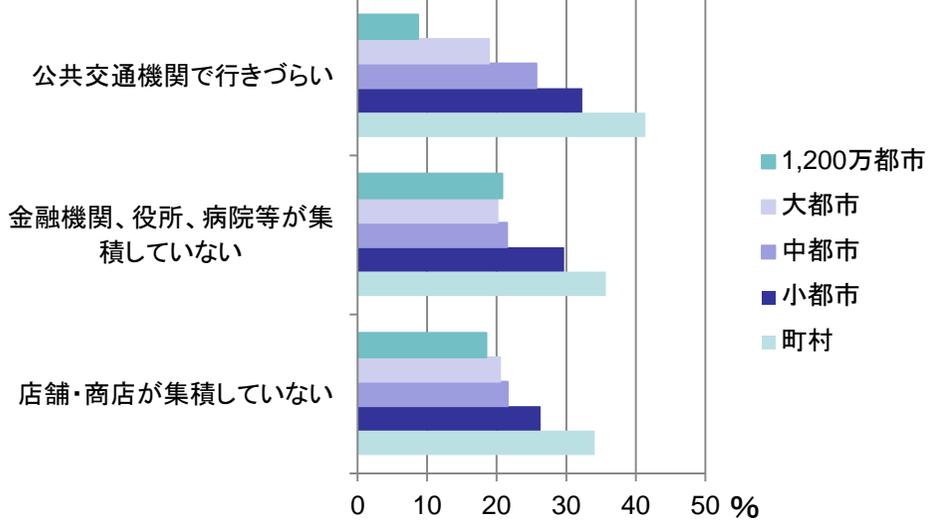
\*前期高齢者: 65~74歳

\*\*後期高齢者: 75歳以上

出典: 全国都市交通特性調査(平成17年)

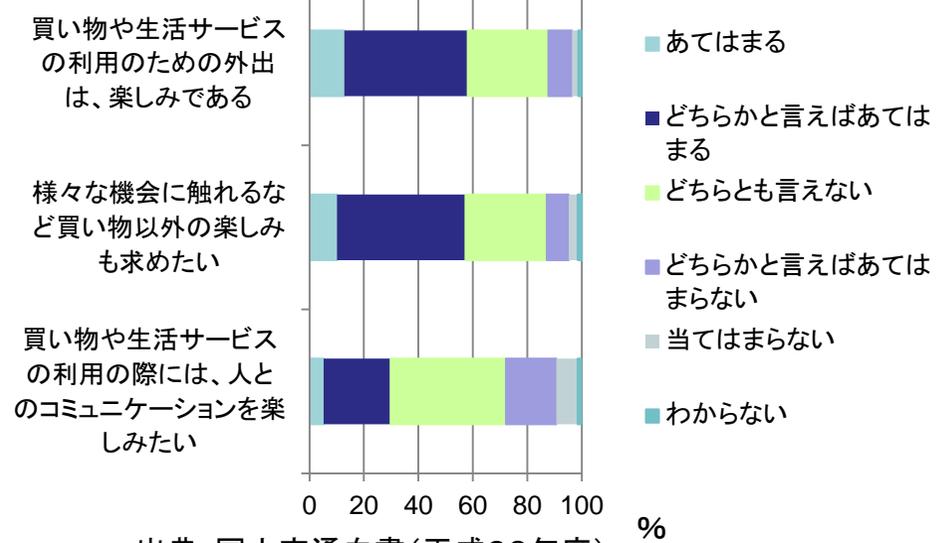
# 暮らしのなかでの主なニーズ

図2-1 日常的な生活活動や活動の場に関するニーズ



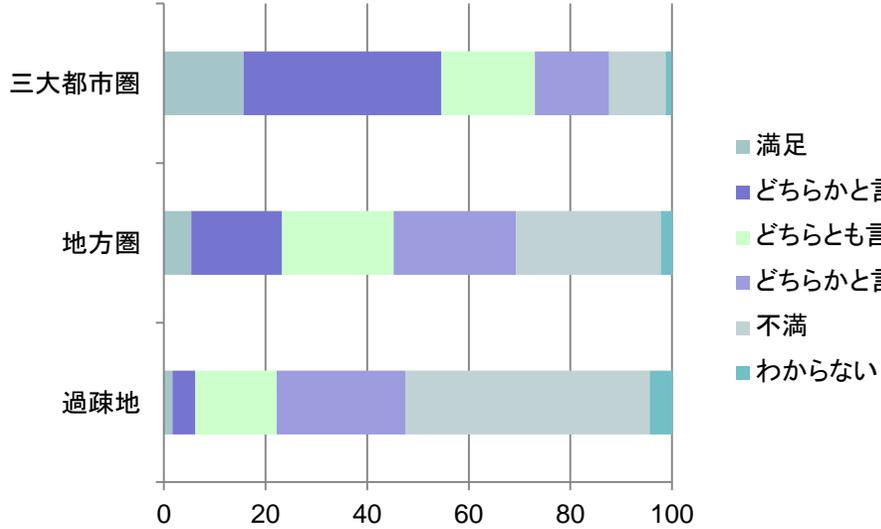
出典：国土交通白書（平成20年度）

図2-2 日常的な生活活動に求めるもの



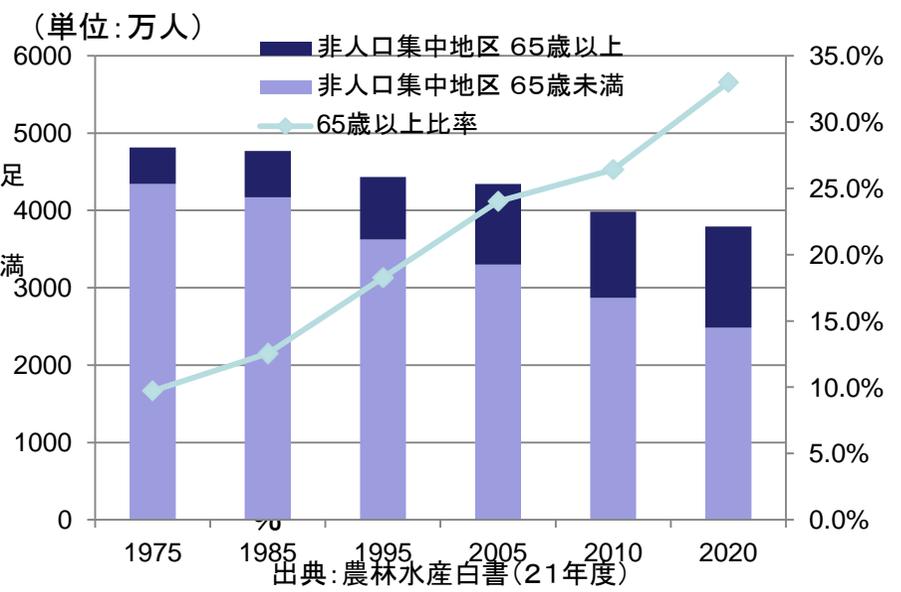
出典：国土交通白書（平成20年度）

図2-3 公共交通に関する満足度



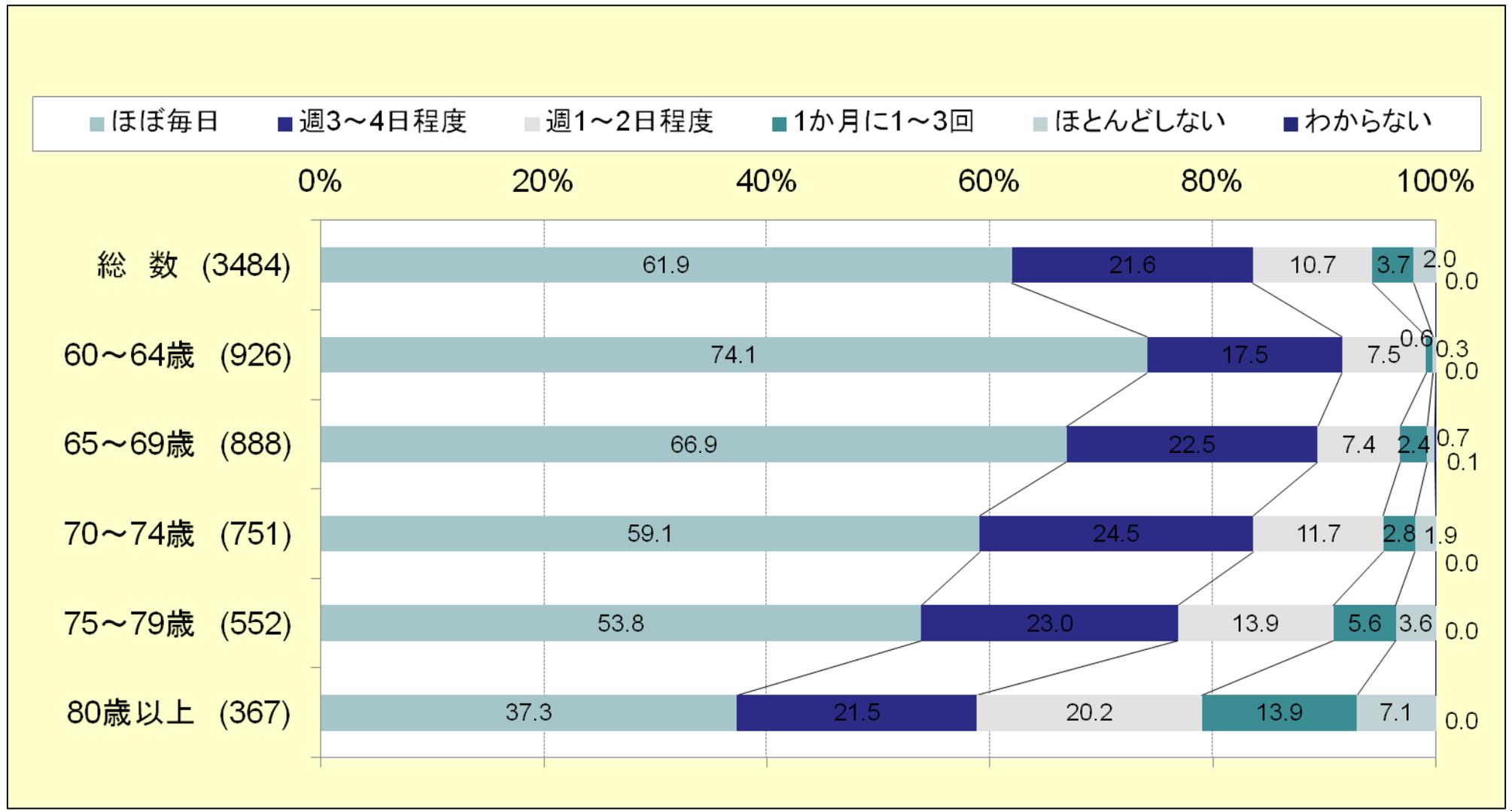
出典：国土交通白書（平成20年度）

図2-4 地方部（非人口集中地区）における人口構成の推移／予測



# 高齢者の外出ニーズ

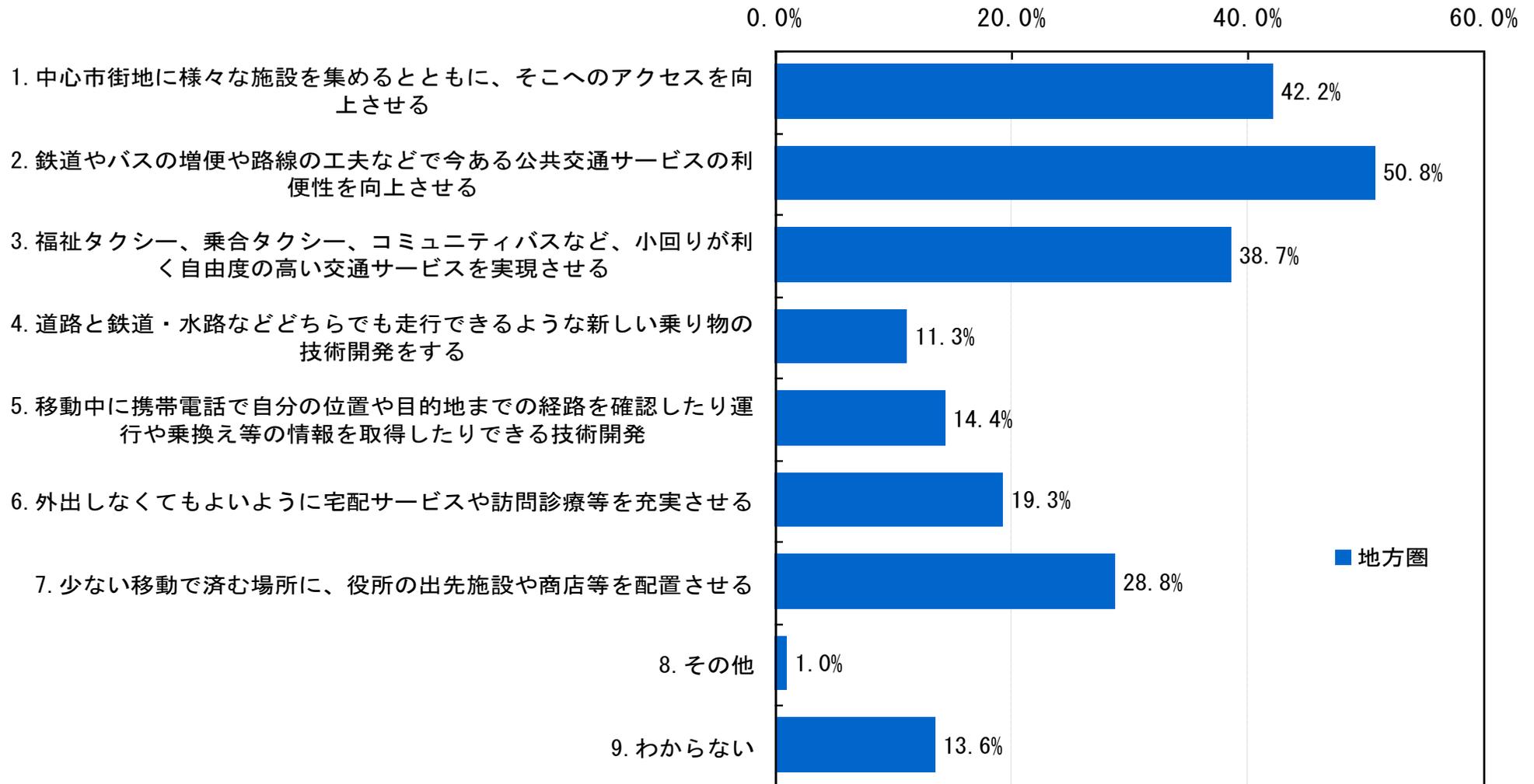
図3 高齢者の外出頻度



(出典:平成21年度高齢者の地域におけるライフスタイルに関する調査結果【内閣府】)

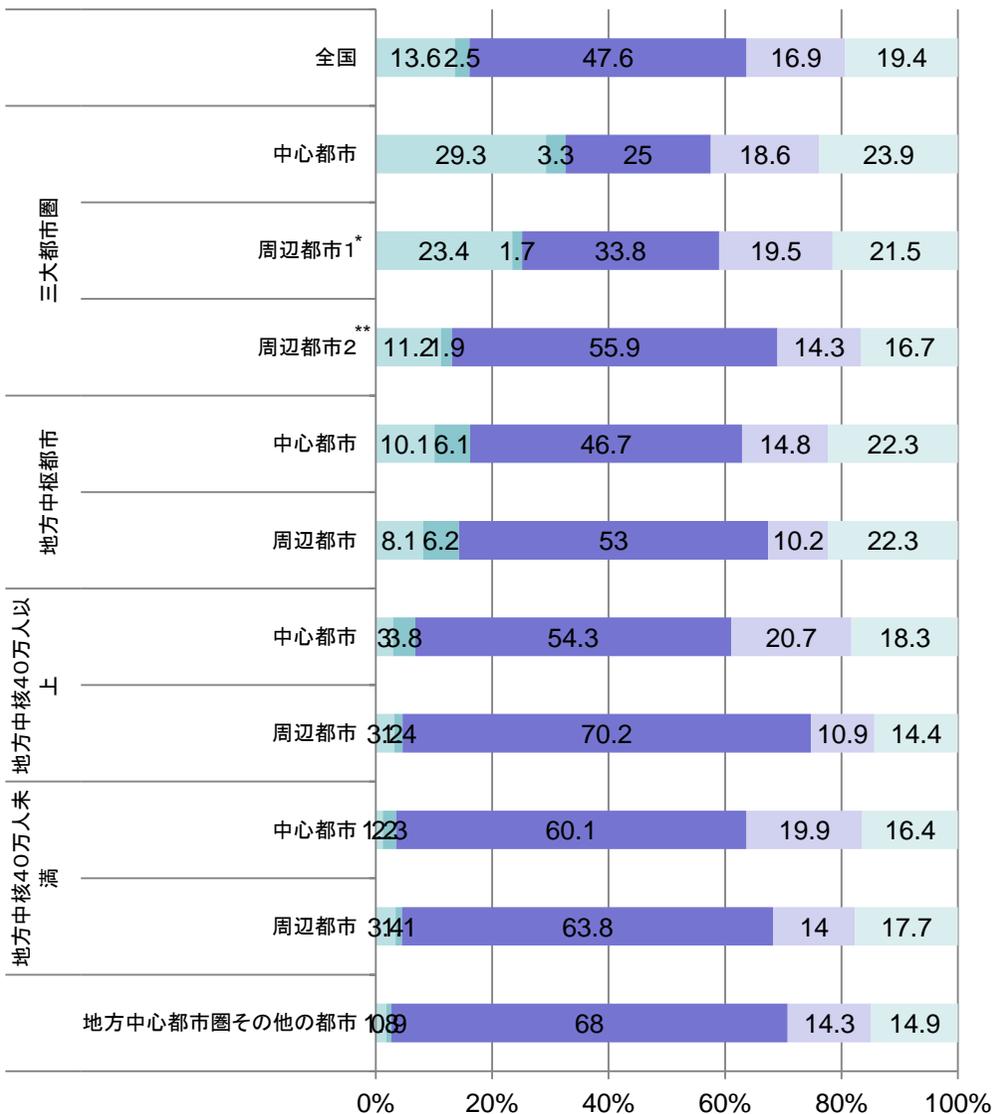
## 暮らしの中で移動に関わることに関する改善方策

図4 日々の外出・移動を便利にしたり、サービスを利用したりするのに有効だと思われる方策は以下のどれですか。あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)



# 都市圏別の交通機関分担率と世帯の自動車保有率

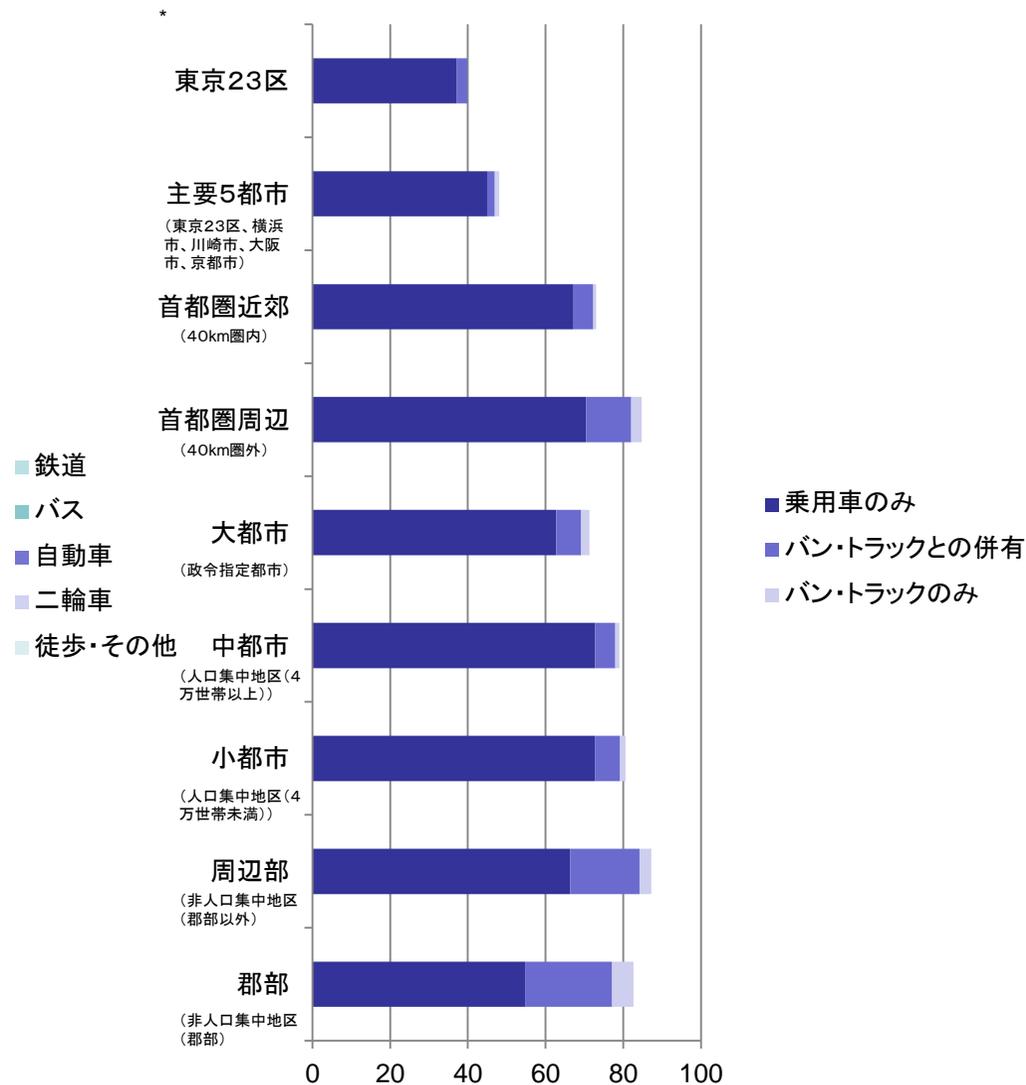
図 5-1 都市圏別の交通機関分担率



\*周辺都市1: 取手市、所沢市、松戸市、稲城市、堺市、奈良市  
 \*\*周辺都市2: 青梅市、岐阜市、春日井市、亀山市、近江八幡市、宇治市

出典: 都市交通特性調査(H17)

図 5-2 都市圏別の世帯の自動車保有率(%)

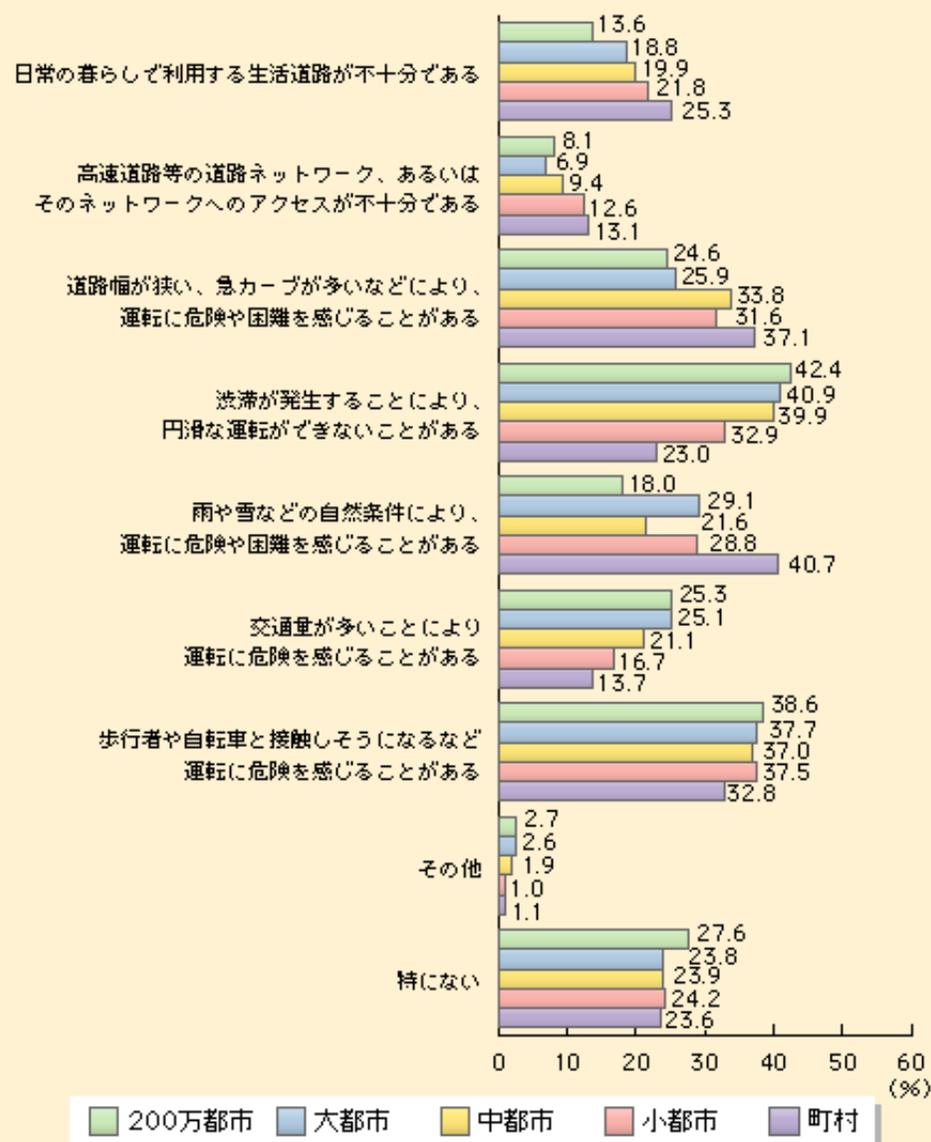


出典: 「乗用車市場動向調査2009」(日本自動車工業会)

# 自動車等を利用する道路に関する不安

図6 都市規模別の道路に関する問題や不安なこと

問 あなたが車やオートバイなどを利用する道路について、下記のそれぞれの項目について問題や不安を感じたことはありますか(あてはまるもの全て選択)。



出典:国土交通白書(平成20年度)

図 7-1 年齢区分別・都市圏別運転免許の保有状況

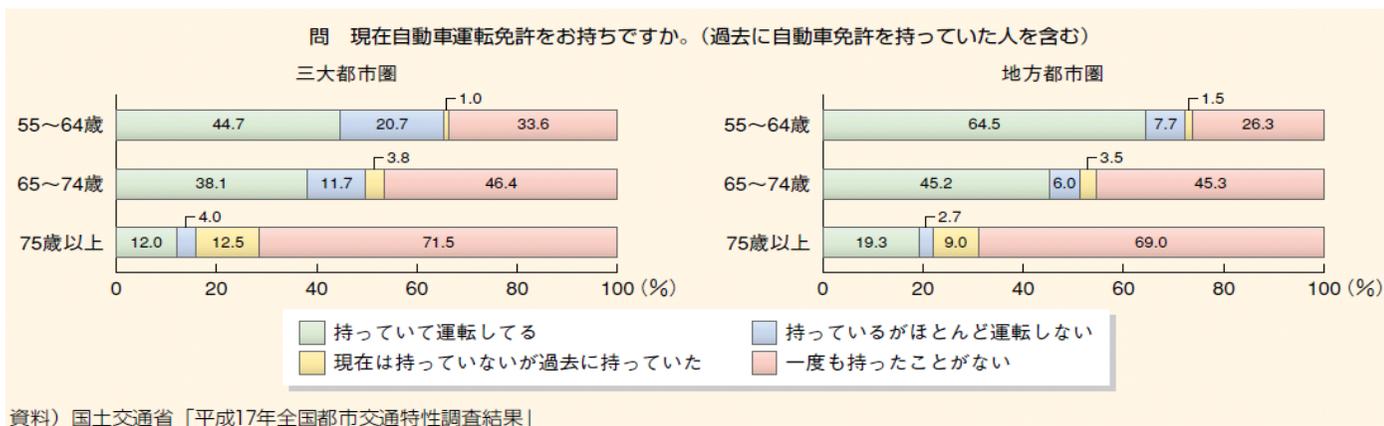


図 7-2 運転しなくなってきたからの移動手段の変化

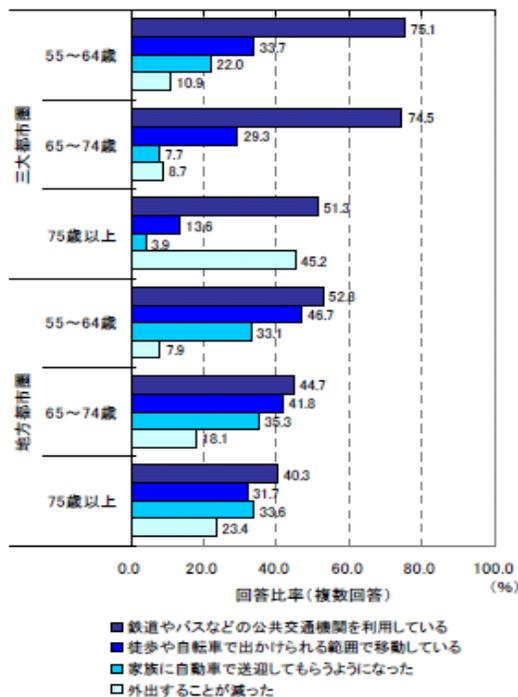
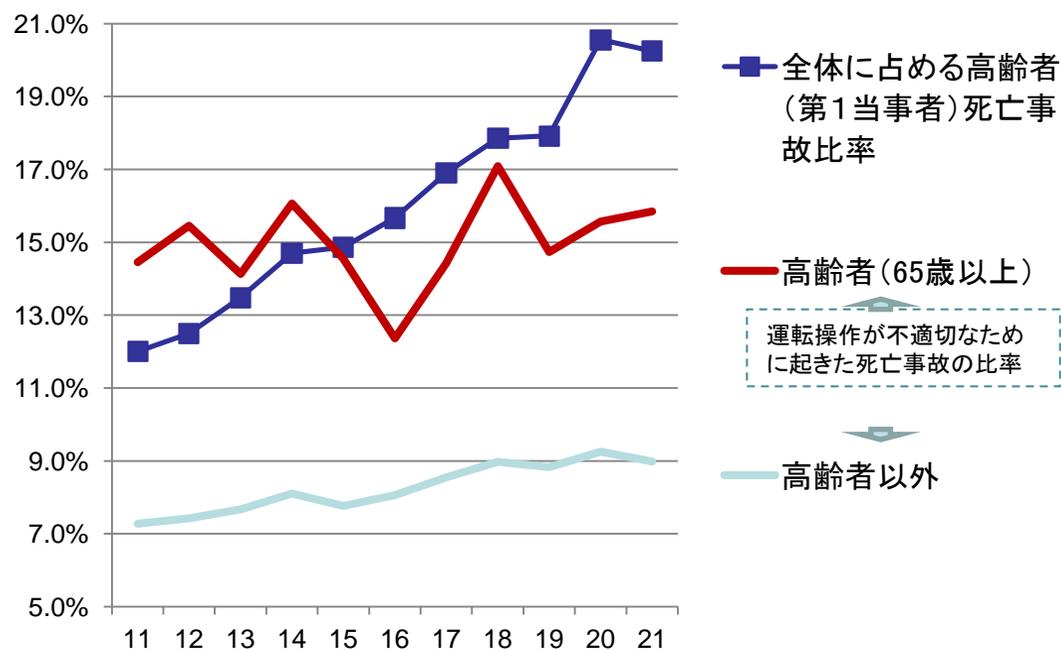


図7-3 高齢者と交通事故



# 年間収入額及び月別消費支出額について離島地域と全国との比較

	全国		離島地域			
	7月	11月	7月		11月	
	(H21)	(H21)	(H21)	指数	(H21)	指数
集計総世帯数(世帯)	4,554	4,588	2,345	—	2,027	—
世帯人員数(人)	2.5	2.5	3.2	—	3.2	—
世帯主年齢(歳)	55.7	55.7	56.5	—	57.2	—
年間収入(H20)(千円)	6,370	—	5,131	80.5	—	—
消費支出額(千円)	253	240	224	88.5	228	95.0
%	100	100	100	—	100	—
食費	75	73	56	78.7	57	74.0
%	29.6	30.4	25.0	—	25.0	—
住居費	18	18	17	94.4	20	111.1
%	7.1	7.5	7.6	—	8.8	—
光熱・水道費	18	19	26	144.4	28	147.4
%	7.1	7.9	11.6	—	12.3	—
家具・家事用品費	13	11	14	107.7	11	100.0
%	5.1	4.6	6.3	—	4.8	—
被服・履物費	12	14	9	75.0	9	64.3
%	4.7	5.8	4.0	—	3.9	—
保健医療費	13	14	14	107.7	15	107.1
%	5.1	5.8	6.3	—	6.6	—
交通費	28	23	34	121.4	34	147.8
%	11.1	9.6	15.2	—	14.9	—
島内交通費	—	—	9	—	8	—
%	—	—	(26.5)	—	(23.5)	—
ガソリン代	5	5	13	260.0	13	260.0
%	(17.9)	(21.7)	(38.2)	—	(38.2)	—
島外交通費	—	—	11	—	13	—
%	—	—	(32.4)	—	(38.2)	—
船・飛行機運賃	1	1	8	800.0	8	800.0
%	—	—	((72.7))	—	((61.5))	—
通信費	12	14	17	141.7	19	135.7
%	4.7	5.8	7.6	—	8.3	—
教育費	9	10	10	111.1	11	110.0
%	3.6	4.2	4.5	—	4.8	—
教養娯楽費	33	33	12	36.4	12	36.4
%	13.0	13.8	5.4	—	5.3	—
理美容・身の回り品費	23	10	13	56.5	11	110.0
%	9.1	4.2	5.8	—	4.8	—

出展：全国は「家計調査」（総務省）の平成21年7月および11月の調査結果より。

注：指数は、全国の値を100とした。なお、各項目の数値は二人以上世帯の数値。

全国との比較のため、消費支出のうち「その他の支出（送付金、社会保障料、借金返済等）」を除いている。なお、消費支出額は「その他の支出」を除く費目の合計金額である。

各費目の数値は四捨五入（小数点第2位）しており、内訳と合計が一致しないことがある。

交通費の内訳の構成比は、島内交通費、ガソリン代、島外交通費は、交通費に占める割合を掲載。船・飛行機運賃の構成比は、島外交通費に占める割合を掲載。なお、全国の船・飛行機運賃は、「航空運賃」と「他の交通」の費用の合計である。「他の交通」とは、鉄道、バス、タクシー、航空、有料道路以外の交通機関の料金。

離島地域の支出のウエイトが全国より10ポイント以上高い費目を赤い網掛け。低い費目を青い網掛けとした。

# 移動に関する障がい者のニーズ(1)

図 8-1 施設、サービスの利用の有無と困ったことの有無(交通関係)

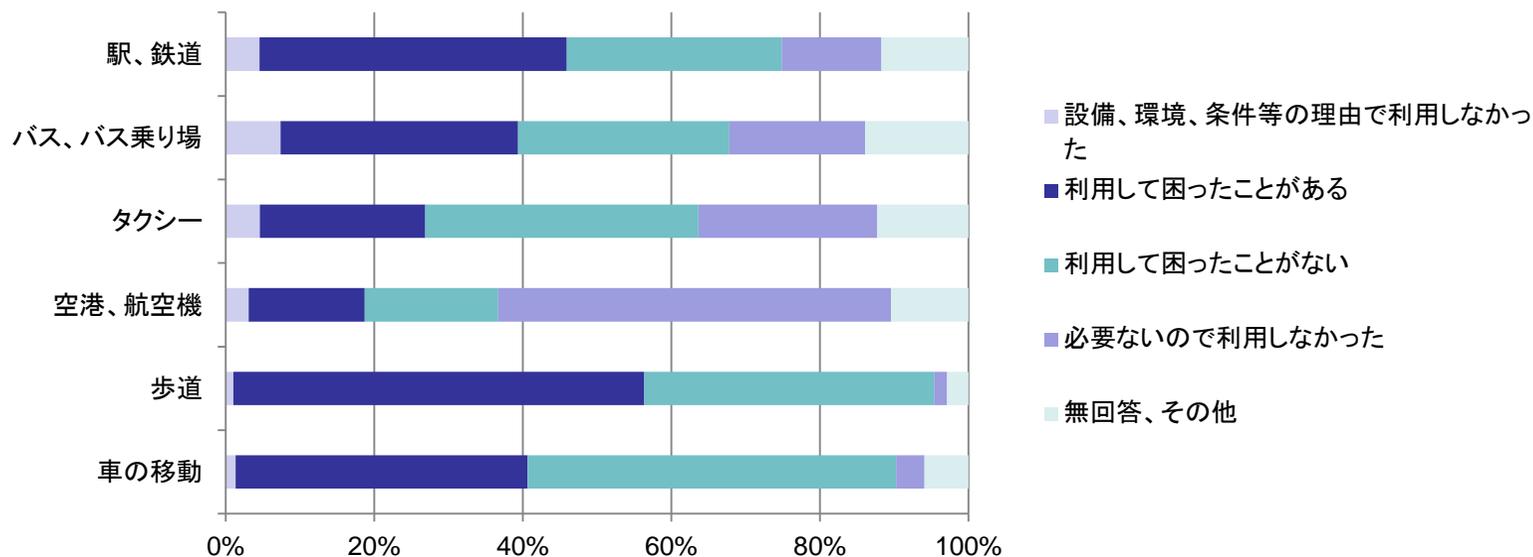
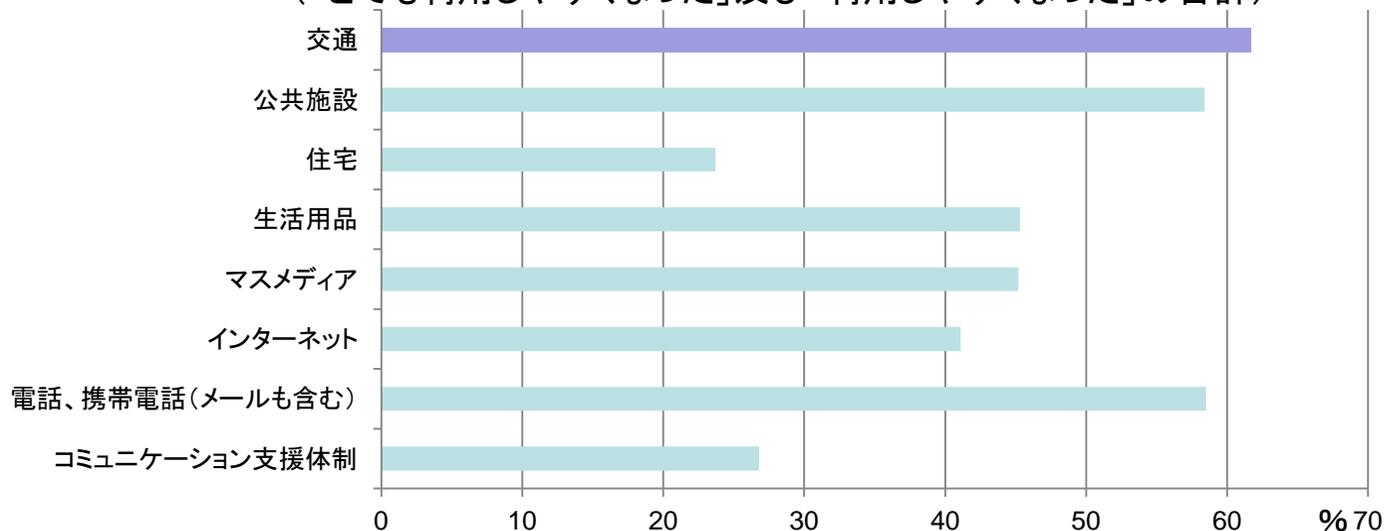


図 8-2 この10年間におけるバリアフリー化の変化  
 (「とても利用しやすくなった」及び「利用しやすくなった」の合計)



出典:平成17年度障害者施策総合調査(内閣府)

# 移動に関する障がい者のニーズ(2)

図 9-1 「利用した際に困ったことの意見」(交通関係)

